



特集

【24人の学生が新年の抱負を語る】

関大生の 夢チャレンジ宣言2013

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】

「年賀状」出しますか？

【働く関大人】教育業界／教員
大阪府立箕面東高等学校 富村大雄さん

【なるほど・ザ・関大!】
関西大学 銅像&オブジェNAVI

【VIVA!学び場】総合情報学部

「CGとヒューマンインターフェース
技術の研究」林 武文 教授

【今月のシンクさんアクトくん 関大生の友の輪】
システム理工学部3年次生 稲垣匠真さん

24人の学生が新年の抱負を語る

関大生の夢チャレンジ宣言 2013

いよいよ新しい年がスタートしました。

本年も関西大学通信をよろしくお願ひします。

さて、2013年最初の特集は、関大生24人にインタビュー。

今年にかかる意気込みを熱く宣言してもらいました。



満

國分 紫苑さん(社3)

大学生最終学年なので、勉強、学生生活、スケートなどさまざまな面において、悔いが残らないよう自分にとって満足のいく形にしたいです。



挑戦

渡部 愛梨沙さん(経2)

オーストラリアのアデレードにある大学への短期留学やゼミ活動などに挑戦して、新しい自分を見つけていきたいです。



夢

雲村 早紀さん(文3)

教員採用試験に合格して、10年間目指してきた「教師になる」という夢をかなえ、中学校の社会科の先生になりたいです。



18

後呂 翔太さん(シス理2)

今年は18回目の資格、ボイラー技士の資格取得を目指して頑張ります。ちなみに他に危険物取扱者(乙種・全類)、火災保険取扱責任者、フォークリフト運転技能講習修了者の資格を持っています。



福

陸 玉雷さん(交換留学生)

福娘に選ばれるように、また、日中関係が「災い転じて福」となるように。福を目指して一緒に頑張りたいです！



走

廣瀬 俊輔さん(経3)

ランニングが好きなので、「2013年は昨年以上に多く走るぞ」という意味と、「就活も走り抜けるような勢いで頑張るぞ」という2つの意味を込めて選びました。



New

吉田 あかねさん(文2)

ずっと勉強一筋でおしゃれもしてこなかったの、これからはメイクも服装にも気を付けて、女の子らしい新しい自分を見つけていきたいです。



100

竹内 匠さん(安全3)

読書が好きで、目に付いたおもしろそうな本はすべて読んでいます。2013年は、100冊を目標に、読書したいです。



形

向田 美穂さん(理工学研究科M2)

化学で医療に貢献するという思いを形にするために、4月から医療機器メーカーで開発技術者として、一生懸命働きます。



TOMORROW

平川 達也さん(安全1)

「Make it TOMORROW!」防災を通して、安全・安心な明日の社会をデザインしたい!



つながり

中里 高典さん(化生1)

全国にたくさんの友人をつくりたいです。所属しているピア・コミュニティをはじめ、いろいろな活動に積極的に参加して全国にネットワークを広げていきたいです。



支

川崎 智絵さん(文3)

昨年は人の支えを感じた1年でした。今年は、自分を磨きながら誰かの支えになりたいです。



広

渡邊 友紀恵さん(文4)

今年から社会人!知識の幅を広げて、人付き合いの輪も広げて、ストレスにも負けない広い心で頑張ります。



院入学

ヴ エンティハイさん(ベトナム・留学生別科)

以前、関西大学に1年間交換留学していました。関西大学の教育環境が良かったので、再び入学したいと思います!



0:00

奥野 友基さん(商1)

サークルやアルバイトなどで不規則な生活でした。勉強、友達、そして自分のために、今年は午前0:00までに就寝、7:00起床の規則正しい生活を心掛けます。



織

土山 笙子さん(社4)

今年から社会人!いろいろなことを学び、吸収して、それらが縦糸横糸となって新たな自分を織り成していきたいと思います。



徹頭徹尾

石田 泰佑さん(商3)

ついに就活…。今までやってきたことを信じて、最初から最後まで決めて諦めずに、目標である放送業界に就職できるまで頑張ります。



機械

伊藤 友香さん(法1)

「機械オンチ」を卒業します!今年で20歳だし、嫌いだからっていつまでも逃げたり人任せにするのをやめて、機械とお友達になりたいです。



資格取得

岩本 由香さん(社2)

自分の長所を増やすため、見つけるため、そして自分磨きのために挑戦する年になりたいです。まずはMOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)の取得を目指します。



学

上重 佑太さん(人2)

今年はさまざまな社会勉強をしたいと思っています。地域に溶け込んだボランティアなどを通して、地域との関わり方を学び、自分の成長につなげたいです。



精励恪勤

俣野 祥吾さん(情4)

4月から新社会人!会社のため、社会のために汗を垂らして働いて、今まで支えていただいた家族や先生・友達に恩返しします。



楽

出石 雅也さん(外1)

2012年は英語漬けの毎日で頑張ったので、2013年はスタディ・アブロードでユタ大学に行って、楽しみたいです。



1年生

辻本 智恵さん(商4)

4月から社会人1年生!気持ち新たに、挑戦して失敗しながら日々頑張ります。



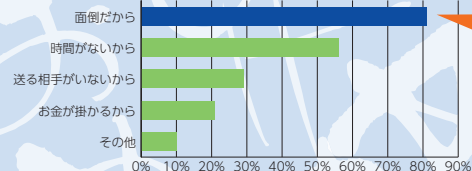
世界人

メタチャルノン チャンガンさん(タイ・留学生別科)

将来、私は世界中で活躍するような人になりたいので、中国語の勉強を始めることが私の今年の目標です。

出さない

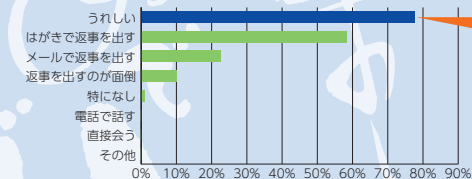
年賀状を出さない理由は何ですか?(複数回答可)



男女共に「面倒だから」が最多。また、女子に関しては41%が「送る相手がいない」と回答。

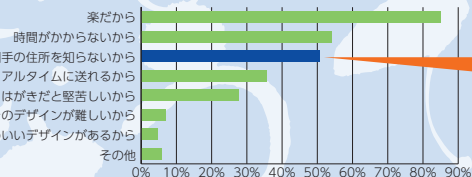
自分宛てに年賀状が来たとき、どう感じますか?また、どうしますか?

(複数回答可) (出していない人のみ)



年賀状を「出さない」と答えた人でも、もらうとうれしい!?

なぜSNSやメールで送るのですか?(複数回答可)



「楽だから」などの他に、意外にも「相手の住所を知らないから」という回答も多い。

「出さない」人に年賀状に対する意見を聞きました。

学部 学年	性別	コメント
文 4	女	年賀状は毎年悩むし、手間が掛かるので、ほとんどメールで済ませてしまいます。古くからある日本の風習ですが、時代も変わってきていますし、毎年のことなので面倒くさがる人も多そうですね。
経 2	女	年賀状は必要ないと思います。手間が掛かり、年末年始のさまざまな行事で忙しいときに、書く時間がないからです。年賀状より、直接会ってあいさつしたり、メールでリアルタイムに送った方が相手も喜ぶと思います。
商 3	男	古くからの伝統として今なお続いているが、私ははっきり言って不要だと思います。お金や手間を掛けてやることではないと思うし、多様化する社会に適した別の方法でやればよいのではないかと思います。
環 部 1	男	最近では、インターネットが広がっているので、メールで送るのがほとんどだと思いますが、はがきで出した方が格好いいと思います。でも、住所を知らない人が多いので結局メールになってしまいます。
化 生 4	男	中学生までは年賀状を出していましたが、携帯を持つようになり、出さなくなりました。現在は年賀状は届いたら返すというスタンスですが、目上の人などには年賀状を書くべきだと思います。



OPINION OF PROFESSOR 文学部 乾 善彦教授

「現代社会の趨勢と年賀状」

年賀のあいさつの歴史は古く、その書状も平安時代には確認できます。江戸時代には庶民階級の教科書に年賀状の文例が載せられています。しかし、何といても1871年に郵便制度が始まったこと、戦後、1949年にお年玉付き年賀はがきが登場したことは、年賀状の普及に大きく貢献しました。ところが近年、

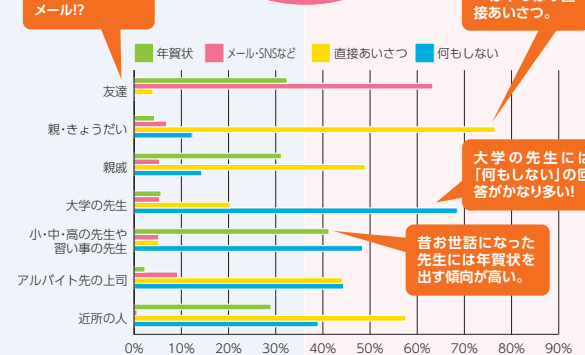
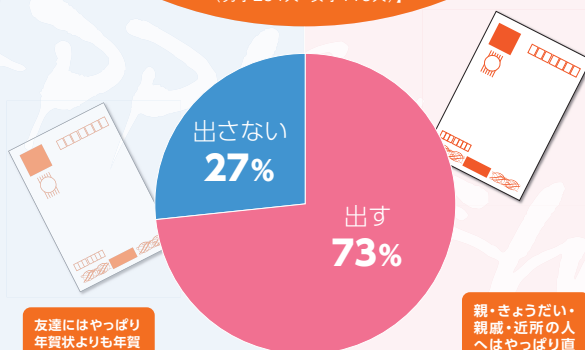
メールの普及で年賀状なしで済ませる人も多くなったようです。27%という数字が多いか少ないかは意見が分かれるでしょう。友人同士はメールで済ませることが多いようですが、私のところにも、学生や教員から年賀メールが来ます。以前は、300〜400枚程度来ていましたが、名簿が発行されなくなった影響で、めっきり減りました。友人に直接会ってあいさつするので年賀状は書かないという合理主義も見受けられます。これも時代の変化でしょう。数字にも表れていますが、年賀状はもたらえうれしいもので、年に一度の近況報告に役立っていることも見逃せません。年賀の方法も、時代の変化に応じて多様化しているようですが、手作りの年賀状には温かみを感じます。

みんなで一緒に考えよう。

関大誌 上教室 「年賀状」出しますか?

皆さんは今年、何通年賀状を出しましたか?
賀状離れが進んでいるようです。
状について調査してみました。

【アンケート実施期間: 11月6日〜11月16日
対象: 関大生 回答者数: 349人
(男子234人 女子115人)】



友達にはやっぱり年賀状より年賀メール!

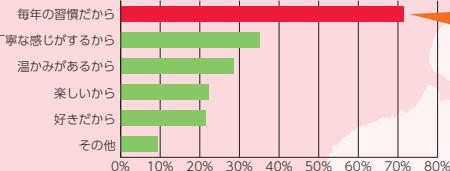
親・きょうだい・親戚・近所の人へはやっぱり直接あいさつ。

大学の先生には「何もしない」の回答がかなり多い!

昔お世話になった先生には年賀状を出す傾向が高い。

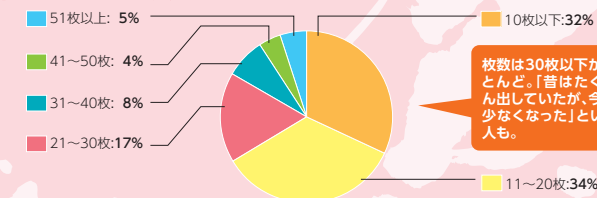
出す

年賀状を出す理由は何ですか?(複数回答可)



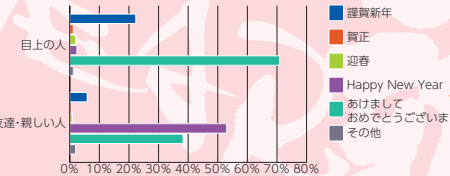
「毎年の習慣だから」という回答が70%以上。中には、普段あまり交流のない人との、年に一度の情報交換の機会と考えている人も。

毎年何枚くらい年賀状を出しますか?



枚数は30枚以下がほとんど。「昔はたくさん出してたが、今は少なくなった」という人も。

新年のあいさつはどんな言葉を使っていますか?



出す相手によって文面やデザインを作り分けている人は80%以上。また、目上の人には丁寧な言葉を、親しい人にはフレンドリーな言葉を選んでいる人が多い。

「出す」人に年賀状に対する意見を聞きました。

学部 学年	性別	コメント
M 1	女	特に親しい人には手書きで送っています。受け取る方の負担にならないように、大勢には送れません。クラスメートや海外の友人には、SNSを利用します。
法 2	男	年賀状を作成するのは面倒に感じることもありますが、もらったときはうれしいです。お正月には年賀状が来ているか楽しみにしながらポストをのぞいてしまうので、年の初めにはなくてはならないものだと思っています。
社 2	女	私が年賀状を送る理由は、1年間お世話になったお礼を込めたからです。最近はメールで送った方がいいかどうか確認するようにしていますが、年賀状は書くとうれしいものだと思うので、私は送り続けたいと思います。
政 策 3	女	年賀状は新年を迎えるに当たって大事なものだと思っています。手書きの手紙を送る機会が減ってきた今、手書きの文章の方が気持ち伝わり、温かみがあると思います。
環 部 1	女	小学校1年生から、その時の担任の先生に年賀状を出し続けています。その先生も、元日に届くように出してくださっています。年賀状がなければこんなに長いお付き合いをするのは難しかったと思います。

次号のテーマは…「社会人として必要なことは?」

卒業式を迎え、多くの関大生が社会に巣立ちます。社会に出れば、学生生活で学んだことはもちろん、学生とは違った社会人としての能力・知識・技術なども新たに求められるはず。

そこで3月号では、関大生の皆さんと関大を卒業して社会で活躍している先輩が、社会人としてのどのようなことが必要だと考えているのかをリサーチします。

1月号「関大誌上教室」アンケート
プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「年賀状」出しますか?」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(1月7日に通知予定)。

「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

教育業界／教員

大阪府立箕面東高等学校 富村大雄さん

大阪府立山田高等学校出身
2010年総合情報学部卒業



生徒の成長を身近に感じられることが
教師という仕事の大きな魅力です。

大阪府立箕面東高等学校で教員として働く富村大雄さんは現在、中間年次(2年生)の担任を務め、数学と情報の授業を担当。さらに教務担当や入試担当、水泳部顧問を兼務するなど、忙しく充実した毎日を送っています。そんな富村さんが教師を志したのは高校3年生のとき。「高校で大変お世話になった担任の先生の影響です。進学を諦めようかと悩んでいたときに、その先生のおかげで進学を決意できたということもあって、自分も生徒の後押しができるような存在になりたいと思い、教師を目指すようになりました」。そして教員免許を取得できる関西大学総合情報学部に進学した富村さん。「黒上晴夫教授ゼミの情報科サポートプロジェクトでの経験が教師になってからとても役立ちました」と大学時代を振り返ります。

情報科サポートプロジェクトは、高槻市内の府立高校で情報の授業を行う活動で、高校の先生と学生が相談しながら1年間の学習計画を立てて実際に授業を行うというものです。「実際の教育現場を2年間にわたって経験できたことはとても自信になりましたし、のおかげで教員になって最初の授業でも迷うことなく授業を進めることができました」。

時には厳しく、そして優しく生徒を指導するのも教師の大切な役割。先生の思いがうまく生徒に伝わらないなど、試行錯誤すること多いそうですが、「学校生活を通じて生徒たちが成長していく姿を感じられることが何よりうれしいです」と最後に教師という仕事の魅力について語ってくれました。

ある1日の
スケジュール

8:00 出勤
朝の生徒対応と授業の準備
9:00 授業
10:30 教材研究
12:00 昼休みの生徒対応
13:00 授業
15:00 教材研究や保護者への連絡会議など
18:00 退勤



普段使用する道具たち。特に書類の配布や整理に使用する大きなかごは、欠かせない便利アイテムだとか。

※次号(3月号)は卒業特別誌面のため、次回の「働く関大人」は4月号での掲載となります。

Teacher

VIVA!!

学び場



総合情報学部

「CGとヒューマンインターフェース技術の研究」

林 武文 教授

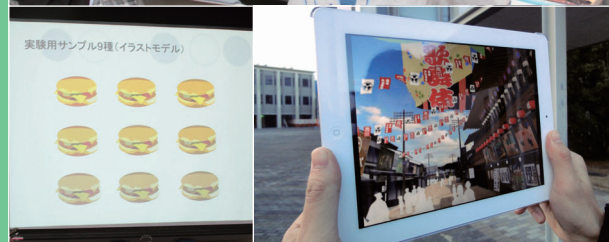
視覚をキーワードに多彩な研究を展開。

視覚情報処理メカニズムの解明から歴史的な街並みのCG復元まで、
文系・理系の垣根を越えた幅広いテーマで研究に取り組んでいます。

人間の視覚やCG・映像に関する研究、心理実験など、文系・理系の学問領域を横断して学ぶ「文理総合学部」ならではの幅広いテーマで研究を行っている林ゼミ。「視覚を中心とした人間の情報処理メカニズムを解明し、ヒューマンインターフェースにおける情報の提示方法を明らかにすること」を目的に、視覚に関するさまざまな研究に取り組んでいます。中でも柱となっているのが、目に見えない情報をコンピュータグラフィックスで可視化する「視覚情報処理メカニズムに関する研究」、人間の視覚特性を調べる「人間の情報処理メカニズムに関する研究」、そして歴史資料に基づいて大正時代の大阪の街並みを3次元CGで復元する「歴史研究における可視化と応用システムの開発」という3つの研究テーマです。

上記の研究に加えて、学生たちは自分で学びたいと思うテーマを自由に設定することができます。おのおのの研究成果については授業中に発表を行い、その内容についてみんなで議論します。学生たちは資料を収集して実験を重ね、検証し、その成果を発表してみんなで議論をするという、研究の一連のプロセスを経験することができます。林先生は学生たちの自主性を尊重しつつ、「新規性」「有用性」「実現性」といった観点から研究内容や進め方などについてアドバイスを行うほか、学生たちの興味を広げるという目的で、さまざまな分野で働く人たちの現場の声を聞ける機会を設けています。

文系・理系の垣根を越えて多彩なテーマを学べる林ゼミ。卒業後は情報通信系企業のシステムエンジニアやゲーム・映像のCG制作といった技術職に進む人が多く、林ゼミで学んだ基礎的な知識や技術、経験が社会に出てからも役立っているそうです。



有馬 里絵さん(4年次生)

スマートフォンを使って教科書のモノクロ画像をカラーや立体的に映し出す研究をしています。林ゼミは「こんな研究がしたい」という思いにしっかりと応えてくれるので、自主性や学び意欲が自然と湧いてきますよ。



竹下 季輝さん(4年次生)

もともとCGIに興味があり、また文理総合ゼミで幅広い分野を学べるので林ゼミを選びました。先生と学生の距離が近くて研究を楽しめる雰囲気があるのも林ゼミの魅力だと思います。



総合情報学部
林 武文 教授

研究を行う際には、なぜその研究を行うのか、どのような意義があるのかということを常に意識して取り組むことが大切です。また、資料を収集して検証し、内容をまとめて発表するという一連のプロセスは、どのような職種・業界に進んでも役立つことなので、しっかりと身に付けてほしいですね。



※次号(3月号)は卒業特別誌面のため、次回の「VIVA!学び場」は4月号での掲載となります。

なるほど・ザ・関大!

私たちのこと、知っていますか?

関西大学 銅像&オブジェNAVI

広大な関西大学のキャンパスに多数点在する銅像やオブジェ。「あれは誰?」「何のために創られたの?」と疑問に感じている方も多いのではないのでしょうか。そこで今回はこれら銅像やオブジェなどについて調べてみました。

千里山キャンパス



児島惟謙先生銅像

関西大学の前身である関西法律学校の創立に名誉校員として参画し、監督的な役割を果たした児島惟謙先生。本学創立80周年を記念し、先生のその遺徳を顕彰して銅像が建立されました。

除幕:1965年(昭和40年)11月 場所:臨文館前



久井忠雄先生銅像

工学部および社会学部の設置、創立80周年記念事業、創立100周年記念事業など、多くの業績を残された久井忠雄先生。本学の礎になった故人をしのんで、命日の1993年(平成5年)8月24日に銅像が設置されました。

除幕:1993年(平成5年)8月 場所:100周年記念会館前



山岡順太郎先生銅像

本学の大学昇格に尽力し、大学の理念として「学の実化」を提唱するなど、発展の礎を築いた山岡順太郎先生。その銅像は戦時中に金属供出のために一度姿を消しますが、その後再建されました。

除幕:1931年(昭和6年)1月建立、1965年(昭和40年)11月再建 場所:第2学舎1号館前



友の像

彫刻家・朝倉文夫氏の作品。1955年(昭和30年)秋に、日展(日本美術展覧会)に出品されていたものを購入しました。この2人の若者にモデルが存在したかどうかは分かっていません。

除幕:1956年(昭和31年)9月 場所:総合図書館玄関前



岩崎卯一先生銅像

本学に39年間在職し、3期にわたって学長を務め、本学の教育・研究の振興に大いに寄与した岩崎卯一先生。その功績をたたえて、ほぼ等身大のブロンズ製の銅像が建立されました。

除幕:1976年(昭和51年)11月 場所:岩崎記念館前



よか 豫科青春の像

本学の旧制豫科で学んだ学生の雄姿を、末永く母校に残したいというOBの念願がかなって建立されたブロンズ像。彫刻家の渡辺岬氏に制作を依頼し、2年がかりで完成しました。

除幕:1990年(平成2年)11月 場所:第2学舎1号館北側庭園

高槻キャンパス

一つの長方形になる、旋回する 二つの不等辺四辺形

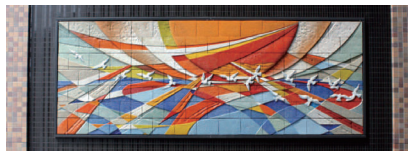


中央広場に設置されている不思議な動きをするモニュメントは、アメリカの彫刻家・ジョージ・リッキー氏の作品。静かな空間の中で風に敏感に反応し、風の流れをさまざまな形で視覚化しています。

除幕:1994年(平成6年)4月 場所:学舎周辺外構

高槻ミュージズキャンパス

飛翔



佐賀県有田で創られたやきものの陶壁画です。幅6.6メートル、縦2.3メートルで、108ピースの陶板で構成。有田泉山の素材を彫刻し、多彩な色とガラス釉を重ね、1,300℃の高温で焼き上げられたものです。

除幕:2010年(平成22年)4月 場所:西門壁面

堺キャンパス

Jタワー



堺キャンパスの体験学習エリアにある14種のエレメントのうちの4種が複合されたタワー。仲間に命綱を託してタワーから飛び降りるなどの活動を通して、自身の内面や仲間との関係などに向き合っていきます。

除幕:2010年(平成22年)4月 場所:体験学習エリア



システム理工学部3年次生

稲垣匠真さん

山登りの素晴らしさを伝えたい。



1925年に創部され、80年を超える輝かしい歴史と伝統を持つ体育会山岳部。しかしながら近年は慢性的な部員不足に悩まされていました。昨年3月には4年次生部員が卒業し、ついに所属部員がゼロに。そんな山岳部存続の危機を救ったのが稲垣匠真さんでした。当時、体育会重量挙げ部員で体育会本部にも所属していた稲垣さん。山岳部の状況を知り、その活動について調べているうちに、徐々に山登りに興味が湧いてきたといいます。「山岳部のウェブサイトに掲載されていた美しい星空や神秘的な雲海の写真を眺めていると、こんな素晴らしい景色を自分の目でも見てみたいと思うようになりました」と転部のきっかけを語る稲垣さん。重量挙げ部の同期や先輩に相談し、「卒業まで山岳部の活動をやり遂げて来い」と快く送り出してもらったそうです。その後、精力的な勧誘活動のかいもあって新入部員2人が加わり、現在は3人で活動を続けています。

「私たちはまだまだ山登り初心者ですが、山岳部OBの監督とコーチがしっかりと指導してくれますし、登る山も私たちのレベルを考慮して選定しているので安心です」と語る稲垣さん。これまでに一番印象に残っている山は槍ヶ岳で、山頂で見た雲海は一生忘れられないといいます。「登山は、道中おなか減るし足は痛くなるし大変ですが、そんなつらいことを忘れさせてくれる感動が山頂で待っています。登り切った感慨と、まるで別世界のような美しい雲海を見たら、誰もがまた登りたいと思うはずですよ」と登山の魅力について熱く語ってくれました。

関西大学体育会山岳部

1925年創部の歴史あるクラブで、主に登山やクライミングを中心に活動。練習場所は大学構内やトレーニングルーム、各地の山々などで、一歩一歩確実にレベルを上げていくことを目標にトレーニングを行っています。現在、山岳部では新入部員を募集中です。興味のある方は一度下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/kansaiunivmountain/>

今回は、稲垣さんからのご紹介で関大スポーツ編集局の木下優新さん(社3)が登場。お楽しみに!

※次号(3月号)は卒業特別誌面のため、今回の「今月のシンクさんアクトくん」は4月号での掲載となります。



Takuma Inagaki

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

政治系ゼミ研究報告会

法学部および学生の皆さんを会員とする関西大学法学会の後援で、2012年11月21日に「政治系ゼミ研究報告会」が行われました。日頃の「専門演習」での研究の成果を発表し、一般参加者も交え、討議するための場で、今年度が初めての試みです。学生諸君は、ミニ学会とでもいった雰囲気戸惑いながらも、真剣に討議を行い、盛況のうちに終えることができました。大学は、まず何よりも主体的な研究のための場です。このような試みが「法律系ゼミ」にも広がり、学部生の研究活動がより活発になることを願っています。

(副学部長 小泉良幸教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

韓国で日中韓院生フォーラムを開催



2012年11月2日・3日、韓国・嶺南大学校で、日中韓院生フォーラムを開催しました。東アジア文化研究科からは12人の院生が参加し、日本語・中国語・韓国語による研究発表を行いました。次回は2月24日(日)から北京外国語大学で開催し、本研究科から10人の院生が参加することを願っています。

(東アジア文化研究科副研究科長 藤田高夫教授)

経済学部／経済学研究科

ゼミナール関関戦を開催しました

経済学部では、毎年、関西学院大学経済学部とゼミナール交流の一環として「ゼミナール関関戦」を行っています。今年度は2012年10月20日に本学千里山キャンパスで開催しました。今回はディベート部門・研究発表部門合わせて、本学から14ゼミ、関学から9ゼミが参加し、白熱した討議や研究報告を行いました。2年次生からのゼミ(経済学演習)必修化に伴い、多数の2年次生も会場を訪れ、先輩たちの「熱き知の戦い」を見守っていました。

(佐々木保幸教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

CORES2012発表会を開催しました



商学部では、2012年12月19日14:40～16:10に、複数の2年次ゼミがビジネスプランを合同で発表する「CORES (CORE Skill Program: コレス) 2012発表会」を、第2学舎2号館4階のC401教室とC402教室で開催しました。内容のある発表と活発な質疑応答がなされ、大盛会のうちに終了しました。

(CORES取りまとめ役 片岡進准教授)

社会学部／社会学研究科

Learning by Doing

社会学専攻の地域福祉文化ゼミは「多様なメンバー」が集まっているインクルーシブなチームです。医学的には最重度といわれる障がいのある聴覚生もその1人で、USJや宝塚歌劇、ラフティング、ソフトボール大会…と研究だけでなくアミューズメント活動を「共に」楽しむフィールドワークに取り組んでいます。2012年11月23日には、長居公園で第3回「東北・関西ボジティブ生活文化交流祭～ずーっと続けてく被災障害者支援～」にブースを出して東北の応援をてきました。

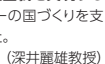
(加納恵子教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

ミャンマー紙記者による講演会を開催

2012年11月28日、「ミャンマーの民主化とジャーナリズム活動」をテーマに、ミャンマー紙[D-Wave]記者Kyaw Soe Naing氏の講演会が開催されました。アウンサンスーチー氏の下で民主化が進む一方、揺れている一面も見えた貴重な講演でした。ミャンマーではいまだに言論の自由が実現されていないため、事前検閲がなくなった今でも自由な報道ができない状態が続いています。民主主義を実現するために、日本の力でミャンマーの国づくりを支援してほしいと述べられました。

(望月通子教授)



(深井龍雄教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

研究科創立10周年記念シンポジウム

「外国語教育学の未来－理論・実践・検証」をテーマに2012年11月24日に開催し、約200人が参加。Swain教授(トロント大)、當作教授(UCSD)、本学の八島教授、染谷教授の4講演に加え、教育の最前線で活躍中の修了生によるパネルトークや発表など、豊饒の10年を確認し、次の10年に対し熱い激励をいただきました。



(望月通子教授)

人間健康学部

体育の教員目指して!

人間健康学部では、保健体育の教員免許が取得できます。教員採用試験には実技試験もあり、授業では専門科目としてマット運動や鉄棒などのスキル習得&指導方法について学んでいます。他のキャンパスでは見ることのない授業風景です。将来の体育の先生を目指して頑張っています。

(弘原海剛教授)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

理工系3学部・理工学研究科の学び／マナー向上キャンペーン

1月16日(水)から「到達度の確認」、24日(木)から「秋学期末試験」が行われます。秋学期の講義を通じて身に付けた知識と能力が試されますので、在学生の皆さんは、学習計画を立て、十分な準備をし、健康にも気を付けて万全の状態試験に臨めるよう心掛けましょう。

また、1月から2月にかけては、理工系3学部の4年次生および理工学研究科博士課程前期課程(修士課程)2年次生の皆さんにとって、卒業論文あるいは修士論文の執筆に追われる時期となります。さらに、論文提出後は、卒業研究発表

会や修士論文公聴会も行われます。これまでの研究の成果を思う存分披露してくれることを期待しています。

理工系3学部および理工学研究科では、学内のマナー向上に努めています。最近では、第4学舎周辺の駐輪状況や喫煙マナーが看過できない状況になってきています。駐輪状況では、特に、第4学舎2号館教室棟北側から第4学舎3号館南側通路における迷惑駐輪が目立ち、車椅子や雨天時、また非常時の通行が困難な状況です。今後、迷惑駐輪指導を強

化する予定ですので、必ず、学内に設置されている駐輪場を使用してください。

また、喫煙マナーについては、指定された喫煙所以外での喫煙や、歩きたばこをする学生が目立ち、問題視されています。本学では、2011年10月より完全分煙化を実施し、各学舎に指定喫煙所が設けられていますので、非喫煙者を思いやり、分煙化に協力をお願いします。

より良い関西大学を築いていくために、一人一人が意識を改め、マナーの向上に努めましょう。

(環境都市工学部副学部長 山本秀樹教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

WS教室をデュアルブートに! Windowsも使えます

高槻キャンパスC棟では、TC201・202教室をワークステーションとWindowsのデュアルブートに衣替え。レポート作成などでWindows教室が混雑する学期末、ぜひこちらも利用してください。また、TC101教室では編集システムがバージョンアップし、Mac教室とのファイル共有が可能になりました。詳しくは学部教育システム用HPをご覧ください。



(西田晃一准教授)

社会安全学部／社会安全研究科

第3回東京シンポジウム

2012年10月16日、第3回東京シンポジウムを学術総合センターで開催し、約400人の来場者がありました。テーマは「これからの企業・行政の危機管理と社会安全学」で、問題提起(河田恵昭社会安全研究センター長)に続き、分科会(第一会場:小澤守社会安全学部長、畑村洋太郎東京大学名誉教授、山崎登NHK解説主幹、第二会場:安部誠治教授、郷原信郎特別任用教授、柳田邦男客員教授)を行い、最後に、パネルディスカッションを実施しました。

(永田尚三准教授)

専門職大学院トピックス

法科大学院

2013年度入学予定者がすでに勉強を開始しています!

法科大学院では入学予定者に対して、入学前から、学習支援とともに法科大学院施設の利用を提供し、入学後も学習環境を変えることなく勉強に打ち込めるようになっています。具体的には、法律基本科目についての入学前指導プログラムをはじめ、1年次配当必修科目の聴講、法科大学院教員によるオフィスアワーの利用、司法試験合格者であるTA(ティーチング・アシスタント)による勉強会、法科大学院生専用のロー・ライブラリー利用など、多彩なサービスを提供しています。来年度の入学予定者も、最終目標である司法試験突破を目指して、これらのプログラムに意欲的に取り組んでいます。法書を志している方は、ぜひ、法科大学院に気軽にお立ち寄りください。

教育内容および施設などの詳細については、法科大学院ウェブサイトにてご確認ください。
http://www.kansai-u.ac.jp/lis/index.html
(研究科長 木下智史教授)

併設校トピックス

関西大学第一中学校

講演会

「ほめて伸ばす～子どもの力」を開催

2012年10月29日に、著書「ほめる達人」の著者で、本校および本学法学部卒の西村貴好氏を講師に招き、一中PTA主催で講演会を開催しました。子ども自身の自ら育つ力を育み伸ばすことの大切さ、またそのために大人は子どもとどのように関わればよいかについて、後輩である生徒たちの保護者に対し、楽しく心のこもったメッセージが送られました。

(教頭 相良雅文)



西村貴好氏

Attention 大学からの重要なお知らせ

エクステンション・リードセンターでは、多彩な講座を開講し、各種資格取得・国家試験の合格をサポートしています。

2013年度開講講座の申込受付は、3月13日(水)より開始します!

※一部の講座・コースによっては開講キャンパスが異なります。詳細は「講座案内2013」(パンフレット)をご覧ください。

3月13日(水)受付開始講座

■英語講座

TOEFL®テスト対策コース TOEIC®テスト対策コース

■公務員講座

国家公務員・地方上級対策講座/技術系対策講座
心理職対策講座/教養・面接対策講座
市役所教養型対策講座(警察官・消防官対応)
市役所教養型対策WEB講座(警察官・消防官対応)
外務省専門職員対策WEB講座/福祉職対策WEB講座

■司法講座

法律科目基礎講座/法科大学院入試対策講座/司法書士講座

■会計職講座

簿記検定講座

■マスコミ試験対策講座

■宅地建物取引主任者講座

■総合旅行業務取扱管理者講座

■ファイナンシャル・プランナー講座

(AFP・2級FP技能士)

■色彩検定講座

■行政書士講座

■受講申込受付(※取組時間は変更になる場合があります。)

千里山	エクステンション・リードセンター事務局	10時30分～21時 (日・祝日および本学休業日を除く)
高槻ミューズ	エクステンション・リードセンター 高槻ミューズキャンパス分室	10時～17時 (土・日・祝日および本学休業日を除く)
高槻	キャリアセンター 高槻キャンパス分室	10時～16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く) ※12時30分～13時30分は昼休
堺	キャリアセンター 堺キャンパス分室	10時～16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く) ※12時30分～13時30分は昼休

※2013年度開講講座は、3月13日(水)より申し込みを受け付けます。

関大トピックス

フィギュアスケートグランプリシリーズに
体育会アイススケート部の3選手が出場

2012年度(2012/2013シーズン)のフィギュアスケートISUグランプリシリーズ(GPS)で、体育会アイススケート部の高橋大輔さん(文学研究科M2)、織田信成さん(文学研究科M2)、町田樹さん(文4)が男子シングルで出場。各大会で優秀な成績を収めました。

グランプリシリーズは、世界6カ国で行われるフィギュアスケートの国際競技大会で、国際スケート連盟(ISU)が承認するフィギュアスケートのシニア選手のシリーズ戦です。1大会に最大で男女シングル各10人、ペア8組、アイスダンス8組が出場。各大会の結果で得られるポイントを合計して、総合成績上位各6人・6組が「ISUグランプリファイナル」に出場できます。

今年度は、高橋大輔さんがGPS中国杯(上海)とNHK杯(宮城)で2位、織田信成さんがGPSスケートカナダ(オンタリオ州ウィンザー)で3位、GPSロシア杯(モスクワ)で5位という成績を収めました。また、町田樹さんは、GPSスケートアメリカ(ワシントン州セント)で3位に入ると、GPS中国杯では見事1位に輝き、グランプリシリーズ初優勝(GPS日本人6人目の優勝)を果たしました。

上記の結果、高橋さんと町田さんは2014年ソチ五輪の本番会場で行われたISUグランプリファイナルに出場。町田さんは残念ながら6位に終わりましたが、高橋さんが日本勢として初めての優勝を果たしました。



今シーズン大躍進の町田さん
(写真提供: 関大スポーツ編集局)

体育会バドミントン部の三納英莉佳さん
世界学生バドミントン選手権女子ダブルスで3位

2012年11月6日～11日に韓国の光州広域市で行われた第12回世界学生バドミントン選手権大会において、体育会バドミントン部の三納英莉佳さん(人3)が女子ダブルスに出場。見事3位に輝きました。三納さんは国別対抗戦にも出場し、日本チームの団体3位入賞に大きく貢献しました。

全日本学生賞典障害飛越競技大会
団体競技で体育会馬術部が連覇を達成

2012年11月3日・4日に東京都の日本中央競馬会馬事公苑で行われた、第62回全日本学生賞典障害飛越競技大会の団体競技で体育会馬術部が優勝。連覇を果たしました。主将でエースの谷脇恭平さん(政策4)を中心に、加山裕章さん(商3)、萬浪至甫さん(文3)、山田晃嗣さん(政策2)で挑んだ団体戦。チーム全体が人馬一体となって挑んだ結果、2年連続の団体競技優勝という見事な成績を収めました。また、個人競技でも主将の谷脇さんが優勝しました。



主将の谷脇さん・バーデンバーデン組
(写真提供: 関大スポーツ編集局)

商学部BLSP岸谷ゼミチームが企画した
「就活名刺アプリ」がマイナビで商品化

さまざまな大学から参加者を募り、チームに分かれて新商品開発のコンペティションを行う「スチューデント・イノベーション・チャレンジ(Sカレ)」。2011年度のSカレで準優勝を果たした商学部岸谷ゼミチームamitieが考えた学生生活充実アプリ「はじめての名刺交換」が、就職活動支援サイト「マイナビ」で「マイナビ就活名刺アプリ」として商品化されました。このアプリは多彩なテンプレートから自分だけのオリジナル名刺を簡単に作ることができ、相手に向けてスマートフォンをスライドするだけで名刺交換ができるなど、就活生同士の情報交換に役に立つツールです。「マイナビ就活名刺アプリ」は、iTunes App Store、またはGoogle Playからダウンロードできます。



「マイナビ就活名刺アプリ」アイコン

今宮戎神社の福娘に本学留学生5人が選出

2012年12月2日に発表された今宮戎神社(大阪市浪速区)2013年の福娘50人に、本学に在籍している留学生5人が選出されました。選出されたのは、陳心潔さん(東アジア文化研究科M1・中国出身)、田甜さん(社会学研究科M1・中国出身)、羅曼甄さん(文学部交換留学生・台湾出身)、キムヨンスさん(文学部交換留学生・韓国出身)、ディン・ティートゥー・フォンさん(文学部交換留学生・ベトナム出身)です。福娘たちは、2013年1月9日(水)から11日(金)まで行われる今宮戎神社十日戎で、参拝客に縁起物の福笹を授けます。



写真提供: 今宮戎神社

関大 四方山話 ◆「偶然がつながっていく力」



よもやまばなし

映像文化論基礎研究の学期末試験の後、教壇に歩み寄って来た1人の男子学生がいた。韓国ノリを渡され「国に帰ったら、こんな授業をしたい」と言う。なぜ学部生が授業をするの?と不思議に思ったが、特に尋ねなかった。それから4年後の今年、急にソウルの学会に参加することになり、せっくなので以前、釜山国際映画祭で講演した際、お世話になった方と会うことにした。当日、彼女は後輩を連れて来た…それが…なんと、あの学生だった!当時の彼は大学院生で、今は名門・

文学部 笹川慶子 准教授

高麗大学で映画学を教えているという。私の授業のレジュメが役に立っているらしい。もちろん大したレジュメじゃないが、なんともううれしい限りである。その夜、私は彼の研究者仲間と夕食を共にし、忘れ難い一夜を過ごした。後で分かったことだが、彼らはなんと、私の好きな女優・ドゥナの先輩たちだった(一応、チャン・グンソクも)。いずれ会えるかも…。偶然がつながって世界が広がっていくのは、なんとも楽しいことである。

編集後記

いよいよ2013年が始まりました。今年最初の特集では、学生の皆さんに今年の抱負を一語(または一字)で宣言してもらっています。抱負を一語で表現することは、意外と難しいものです。読者の皆さまの今年の抱負はどのようなものでしょうか。始まったばかりの新年!まだ抱負を決めていない方は、本誌を参考に考えられてはいかがでしょうか。ちなみに、私の今年の抱負は「企画立案:良い企画を立てて関西大学通信に載せてもらう」です。(広報委員・商学部准教授 木村麻子)

今月の表紙: 川崎美希さん(外4)、重村枝里さん(外4)、下田省吾さん(文2)、新保貴大さん(法2)、中里高典さん(化生1)、林田奈菜子さん(外4)、平田和樹さん(環都2)、平野貴大さん(外3)、廣田桜さん(外4)、横田恵祐さん(商2)、吉野優太さん(法2)

KANSAI Univ. NEWS

発行日: 2013年1月7日(年9回発行) 発行: 関西大学広報委員会 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 電話: 06-6368-1121(大代表)